資料２(1)

ワカサギ等の大量死の原因として考えられる事項

水大気環境課

１　貧酸素水域の拡大

（疑問点）

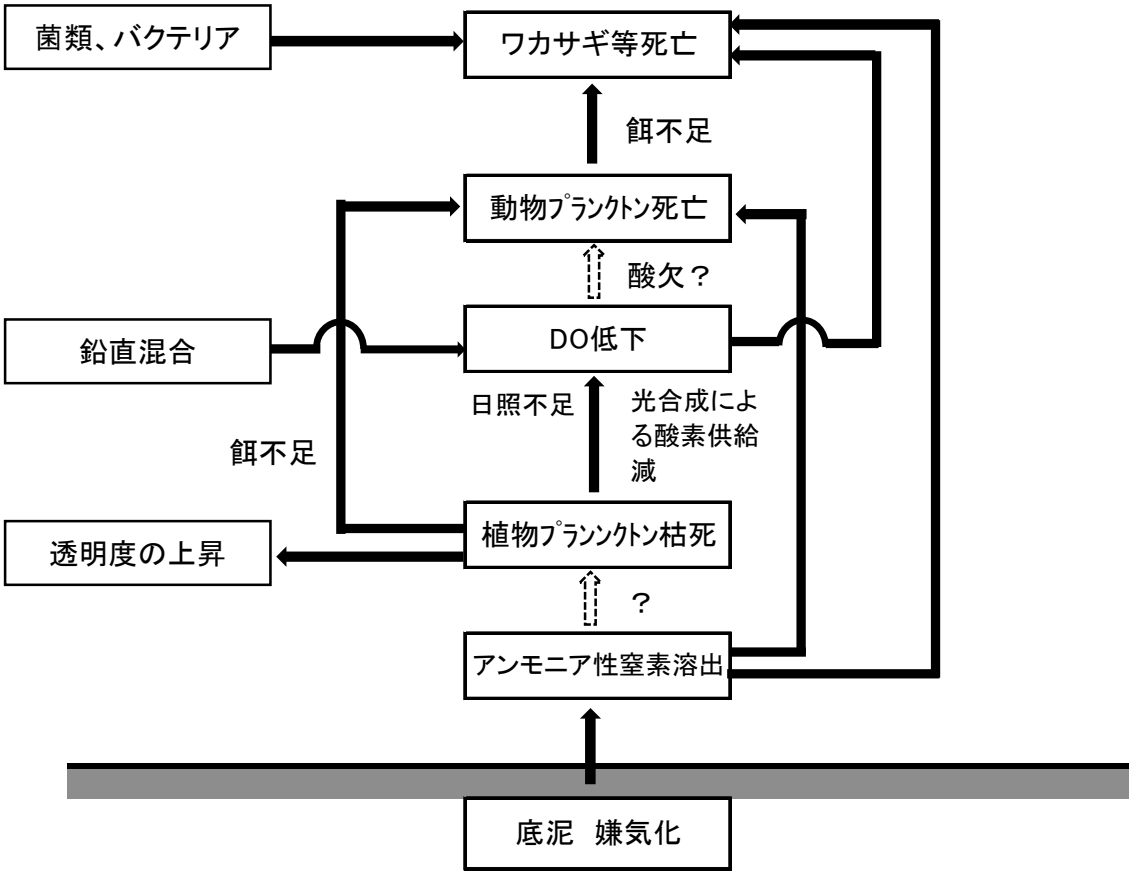
・回遊魚であるワカサギが貧酸素場所から、なぜ回避できなかったのか

・ブラックバスやエビなどの他の魚類が死亡していない

・死亡魚発見時と溶存酸素低下時にタイムラグが生じている

２　菌類、バクテリア、プランクトンなどによる影響

３　アンモニア性窒素などの有害物質による影響

（１～３　いずれもワカサギ等大量死発生時点でのデータが少なく証明できない）

≪原因の関連図≫